

令和5年9月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和5年9月分について、輸出額は「石油製品」などが減少したものの、「自動車」、「自動車の部分品」などが増加したことから、対前年同月比0.3%の増加となった。また、輸入額は「有機化合物」などが増加したものの、「原油及び粗油」、「液化天然ガス」、「石炭」などが減少したことから、同26.2%の減少となった。その結果、差引額は835億円（同44.5%の減少）の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	1,043億円	+0.3%	1,877億円	▲26.2%	▲835億円	▲44.5%
	2カ月連続の増加		6カ月連続の減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車	132億円	+88.2%	輸入	増加品目	(1) 有機化合物	37億円	+27.1%
		(2) 自動車の部分品	100億円	+12.1%			(2) 鉄鋼	29億円	+30.2%
		(3) 電気回路等の機器	96億円	+12.6%			(3) コーヒー	9億円	+182.2%
	減少品目	(1) 石油製品	168億円	▲33.4%		減少品目	(1) 原油及び粗油	1,023億円	▲25.7%
		(2) 映像機器	11億円	▲85.3%			(2) 液化天然ガス	340億円	▲38.9%
		(3) その他の化学製品	19億円	▲42.9%			(3) 石炭	65億円	▲45.2%
地域別動向	西欧、北米が増加、大洋州は減少				地域別動向	中東、大洋州が減少、アジアは増加			

（参考）ドルレートは、146.44円（前年同月比4.7%、6.63円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。